

新千歳空港に光幕天井が登場

布メディアの周囲にエッジラバーを縫製し、フレームにはめ込んで展張させる「ファブリックサインシステム」の浸透が進んでいる。このほど、北海道・新千歳空港の国際線旅客ターミナルビル制限エリア内の免税店で、同システムが天井照明として大規模に採用された。

施工されたのは2面。大きさはそれぞれ13×1.95m、10×1.95mで、光源はLEDバックライトとなっている。幕材は不燃仕様となっており、今回は天井照

明ということで、幕にプリントは施さなかった。

通常の照明施工とは異なる工事となった今回だが、幕は軽量で、溝にエッジラバーを押し込むだけなので、施工時間の短縮にもつながったという。

採用されたファブリックサインシステムは、すでに新千歳空港の広告媒体として多数使用されている㈱リディアワークスの「LUFAS（ルーファス）」。フレームの溝に細かい突起がついた独自構造で、製作寸法のズレを気にせず展張できるのが特徴。対応メディアが幅広く、通常のテキスタイルのほか、FFシートも使用できる。



「当社のルーファスは、皆様のご尽力で屋内サインや間仕切り、広告媒体として浸透が進んでいます。今回、純粋な照明用途、それもこれほどの大面積で施工され、ルーファスの新たな可能性を示せたのではないかと確信しています。このほど「グッドデザイン・ベスト100」も受賞し、更なる普及に向けて、提案を進めていきます」（㈱リディアワークス・小林史人社長）



フレームレスの面発光がインパクト

株式会社 えんれいしゃ
取締役 商業開発事業局 局長 岡田 芳一氏

当社は、新千歳空港において、多彩な情報発信、店舗の企画設計、施設運営などを手掛けています。今回、国際線全面改修に伴う免税店リニューアルでは、新しいインパクトを狙い、幕による天井照明を採用しました。

フレームを感じさせない面発光により、店内をまんべんなく照らしてくれ、狙い通りの仕上がりとなりました。高級ブランドが並ぶ店舗照明として、十分能力を発揮してくれています。

当空港は、地元消防の指導もあり、目に見える部分はすべて不燃材の使用を推進しています。その意味からも、アクリルより不燃幕に可能性を感じました。今後も「ファブリックシステム」を、様々な局面で選択肢に入れていきたいと考えています。



新千歳空港国内線2階出発ゲートには、広告媒体として「ルーファス」が採用されている。サイズはH2.5×W3.5m、光源はLEDバックライトタイプを使用。

次号では、青森空港の天井に出現した大型装飾幕を紹介！

電照ファブリックサインシステム
「LUFAS（ルーファス）」

グッドデザイン賞 ベスト100 受賞



GOOD DESIGN AWARD 2019

BEST 100



お問い合わせ先

株式会社リディアワークス
〒130-0023 東京都墨田区立川 3-6-5
Tel 03-6659-5215 Fax 03-6659-5217

✉ info@lufas.jp 24時間受付中

LUFAS 特設サイトはこちら ▶ <http://www.lufas.jp>

lufas

